【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成27年11月12日(2015.11.12)

【公開番号】特開2015-141246(P2015-141246A)
【公開日】平成27年8月3日(2015.8.3)
【年通号数】公開・登録公報2015-049
【出願番号】特願2014-12716(P2014-12716)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/00　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/00　A
Ｅ０６Ｂ　5/00　D

【手続補正書】
【提出日】平成27年9月25日(2015.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一方の面に沿って離隔して配置される複数の溝を有するベース部と、
前記ベース部とは異なる屈折率を持つ充填材料を前記複数の溝内に充填した複数の充填部と、
前記複数の充填部の前記一方の面側の端面形状により形成される２以上の凹部に所定の充填材料を充填するとともに、前記一方の面上の前記２以上の凹部間に所定の膜厚で配置され、前記充填材料と同じ屈折率の材料を持つ空洞充填部と、を備える採光フィルム。
【請求項２】
前記空洞充填部に充填される前記所定の充填材料は、前記複数の充填部に充填される材料である請求項１に記載の採光フィルム。
【請求項３】
前記ベース部と前記複数の充填部との屈折率差は、０．１以上である請求項１または２のいずれかに記載の採光フィルム。
【請求項４】
前記一方の面側に配置される第１接着層と、
前記第１接着層を介して、前記一方の面に対向配置される第１透明基材と、
前記ベース部の前記一方の面と反対の面側に配置される第２接着層と、
前記第２接着層を介して、前記ベース部に対向配置される第２透明基材と、を備える請求項１乃至３のいずれか１項に記載の採光フィルム。
【請求項５】
一方の面に沿って離隔して配置される複数の溝を有するベース部とは異なる屈折率を持つ充填材料を前記複数の溝内に充填した複数の充填部の前記一方の面側の端面形状により形成される１以上の凹部の周囲及び凹部内へ所定の充填材料を塗布する工程と、
前記ベース部の前記一方の面側の余分な前記所定の充填材料を掻き取る工程と、
前記２以上の凹部に充填された前記所定の充填材料を硬化させる工程を、凹部が埋まって、かつ前記一方の面上の前記２以上の凹部間に所定の膜厚で形成されるまで少なくとも１回以上実施し、前記凹部へ充填材料を充填する工程と、を備える採光フィルムの製造方

法でもよい。